



(こども版) としょかんだより No.288

2008年

4月号

わくわく本だな

富山市立図書館

今月のおすすめ



= 1・2年
= 3・4年
= 5・6年

- あたらしくはいった本の中から、おすすめの本をしょうかいします -

「 ゆうえんちはおやすみ 」 戸田 和代 / 作 岩崎書店



ゆうえんちがお休みの日、けいびいんのおじさんがひとりしていると、きつねがやってきます。かんらん車しやにのりたいたいというので、一回だけの約束やくそくでのせてあげました。ところが、こんどは森の動物どうぶつがたくさんやってきて「きつねだけなんてずるい」と言います。

「 かめきちのなくな！王子様 」 村上 しいこ / 作 そうえん社

かめきちの教室きやうしつからリレーの優勝ゆうしょうトロフィーが消えた。みんなは、とんでもない不幸ふこうがおこるとおおさわぎ。あこがれのけいこちゃんがトロフィーを持っていることを知ったかめきちは、こっそり返そうとする。けいこちゃんの王子様になるために、がんばれ！かめきち！！



「 世界のなぞなぞ 」 旺文社 (ちしきの本)



なぞなぞは、世界中の国にあり、それぞれの国のとくちょうがあらわれています。たとえば韓国かんこくのなぞなぞ、「入はいっていくときは、いっぱい持もっていても、出てくるときには何も持っていないものは、何？」みんなは、答えられるかな？

あたらしくはいった本

えほん

「かわいいサルマ」ニキ・ダリー / 作 光村教育出版



サルマはおばあちゃんに「おつかいのとちゅうで shouldn't 人とおしゃべりしちゃだめよ。」と言われました。ところが、悪い犬にだまされて、にもつも服もとられてしまいます。犬は、サルマになりすまし、おばあちゃんをだまして食べようというのです。

ものがたり

「ひとりざむらいとこうちょうせんせい」

齊藤 洋 / 作 講談社



ひとりざむらいが道を歩いていると、色あせたおうだん歩道に出会いました。校長先生が、学校の正門をうつしたせいで、だれも通ってくれないと言うのです。おうだん歩道のために、ひとりざむらいは、名刀ふしぎまるを使って校長先生と対決します。

このおはなし な～んだ？

おはなしの題名あてクイズ

ある夜、ヤギとオオカミまっくらな小屋でがあまやどりをします。ふたりは「わたしたち、ほんとうによくにってますねえ」と言って友だちになりました。おたがい誰だかわからないまま、次の日いっしょに食事をするやくそくをしてわかれます。

このおはなしの題名わかるかな？

(こたえは、さいごのページにのっています)

ものがたり

「お皿のボタン」 たかどの ほうこ / 作 偕成社



高橋さんの家には、とれたボタンを入れておくお皿さらがあります。その中で、いちばんいばっているのは、大女優だいじょゆうのドレスからとれた高級こうきゆうボタンのホワイト夫人ふじんです。そこへ謎のボタン黒岩くろいわジョーが入ってきました。

「ネズミ父さん大ピンチ！」

ジェフリー・ガイ / 作 徳間書店



人間の家でくらすハツカネズミいっかの一家に、大ピンチがおとずれました。ネコがやってきたのです。ネズミの父さんは、家族をすくうためにある作戦を思いつき、はじめて外の世界へでかけていきました。

「無愛想ぶあいそうなアイドル」

杉本 りえ / 作 ポプラ社



ぼくのクラスにスポーツ万能ばんのうで、いつもよれよれのTシャツを着た「超人男姫ちょうじんおとこひめ」と呼ばれている翔子しょうこがいる。スポーツが苦手にがてなぼくにとって、世界で一番近づきたくない女の子だ。その翔子がぼくのかくれがに犬をつれてやってきたんだ。

ちしきの本



「野菜ほぞんしょくの保存食 世界の保存食2」 谷沢 容子 / 作 星の環会

保存食とは、食べ物をむだなく食べたり、長くとっておくための知恵ちえです。みんながよく知っている梅干うめぼしやキムチもその一つで、ペルーではじゃがいもこおを凍らせて保存しています。世界中で、食べ物を大切にくふうする工夫がされているんですね。

名作をよもう！

今月の1さつ

「車のいろは空のいろ」 あまん・きみこ / 作 ポプラ社



空色のタクシーを運転する松井さんは、時々ふしぎなお客さんをのせます。ある日、パンクしたタイヤをなおしていると、小さな男の子のきょうだい^{そらいろ}が手伝ってくれました。お礼にタクシーにのせてあげますが、ふたりがおりた後には、みじかい金色の毛がちらばっていました。

ほかにも「うんのいい話」「白いぼうし」などのおはなしがあります。

つくってみよう！ 第1回

「クローバーのおし花」をつくろう！

春はたくさんの花が咲きます。

みじかにあるクローバーなどをおし花にしてみましょう。



(材料) クローバー、ティッシュペーパー、電話帳^{でんわちょう}

土やゴミをとりのぞいたクローバーをティッシュの上にていねいに広げます。
の上に、もう一枚ティッシュをのせます。

を、電話帳などのあつい本の間にはさんでおもしろをして、1週間～10日間ぐらいまちましよう。本の重さは10～15kgが目安^{めやす}です。

ピンセットでさわってみて、サラサラと動くようになっていれば、押し上がったしるしです。

*もっとくわしく知りたいときは

「こどももできる昔ながらの押し花」清水はるこ著 を見てください。



《クイズのこたえ》

あらしのよるに

(きむらゆういち / 作 講談社)

このシリーズは7巻まであります。



< 編集・発行 >

富山市立図書館

富山市丸の内1丁目4-50

電話 076-432-7272